

史料群番号 29

史料群名	むらやまひこきち 村山彦吉家文書	旧所蔵者	村山彦吉
探訪時住所	茨城県稲敷郡古渡村古渡		
現在の住所	茨城県稲敷市古渡		
探訪年月	昭和26（1951）年8月		
史料の年代	慶長7（1602）年～明治26（1893）年	史料の総点数	286点
年代の内訳	近世206点/近代 6点/不明 74点	筆写稿本	あり
既刊行目録	「1953年11月 漁業制度資料目録 第9集 全国篇VI 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」「昭和五十年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録- 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」「平成十五年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-茨城県（霞ヶ浦・北浦周辺地域）関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

探訪の書類に寄贈と記されている。「漁業制度資料目録 第9集」に同家史料が掲載されており、現在中央水産研究所に収蔵されている史料と、その内容はほぼ一致する。おそらく、本史料群は探訪から現在に至るまで、史料の散逸、移動は生じなかったと考えられる。

史料群の概要

探訪地の稲敷郡古渡村については、「永長栄三郎家文書」の「史料群の概要」参照。近世期の河内郡古渡村は、幕末に天領と旗本3氏の相給であるが、村山家は旗本伊丹家知行所の村役人を勤めていた。本史料群には、先納金など旗本の勝手賄に関する史料、河川交通に関する史料をはじめ村政にかかわる公的な文書が多く残されている。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

